

九州伝承遺産ネットワークシンポジウム

1 目的

九州には、地域における有形・無形の文化遺産の価値を発見し、その保存・活用のため、市民グループの方々が関係機関と協力し、各地で活動しております。このような地域の文化遺産の中で、2006 年、九州・山口の関係 6 県 8 市によって、世界文化遺産暫定一覧表への追加を目指し、「九州・山口の近代化産業遺産群」として、文化庁に提案書が提出されました。

しかし、その文化遺産の価値の大小に関わらず、各地域に点在する文化遺産の価値を地域住民・市民がともに、保存・活用、または再認識することの重要性が益々高まりつつあります。

今回のシンポジウムでは、文化遺産の保存・活用の推進を中心に、世界遺産をテーマにした研究者を交えて、ディスカッションをおこない、九州各地の市民グループの連携の強化や一般市民の方々の理解促進を図ります。

対象者

伝承遺産の保存・活用に関心がある市民の方々、市民グループ、公共団体、教育・学術関係者、観光関係者など

- 1 テーマ 地域連携による郷土の文化遺産の保存・活用を推進するために
～ 伝承遺産を受け継いで、子供たちの明るい未来を約束する～
- 2 日時 平成 19 年 3 月 11 日（日）午後 1 時 30 分～ 5 時 00 分
- 3 場所 長崎市（長崎県総合福祉会館）
長崎市茂里町 3 - 2 4
- 4 プログラム
 - (1) 主催者・来賓挨拶（13：30～13：40）
 - (2) 九州伝承遺産ネットワークの概要
永吉守氏（NPO 法人大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ理事）（13：40～13：50）
 - (3) 最近の九州の話題と世界の話題（13：50～14：50）
プレゼンター：後藤恵之輔氏（長崎大学教授）
：加藤康子氏（都市経済評論家）
 - (4) 休憩（14：50～15：00）
 - (5) パネルディスカッション
地域連携による郷土の文化遺産の保存・活用を推進するために（15：00～17：00）
コーディネーター：坂本道徳氏（NPO 法人軍艦島を世界遺産にする会）
ファシリテーター：遠藤宣雄氏：文化遺産活用スペシャリスト（遺跡エンジニアリング）
：（鹿児島）東川隆太郎：「世間遺産」提唱・認定者、NPO 法人かごしま
検の会専務理事）
パネリスト：（長 崎）梅元健治氏（長崎居留地ネットワーク）
（福 岡）古庄信一郎（志免壱坑櫓を活かす住民の会）
（熊 本）西嶋公一氏（熊本まちなみトラスト会長）
（佐 賀）三原 宏樹（NPO 法人まちづくり研究所理事長）
（大 分）高橋 鴿子（聴潮閣高橋記念館館長）
- 5 入場料等 無料（どなたでも参加できます。）資料が必要な方は別途 500 円かかります
- 6 主 催 九州伝承遺産ネットワーク
- 7 共 催 （社）長崎県観光連盟 （財）九州地域産業活性化センター
NPO 法人大牟田・荒尾 炭鉱のまちファンクラブ・NPO 法人軍艦島を世界遺産にする会・長崎居留地ネットワーク・高島活性協議会・志免立坑櫓を活かす住民の会・NPO 法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会・NPO 法人桜島ミュージアム・NPO 法人門司赤煉瓦倶楽部・NPO 法人北九州 COSMOS クラブ・熊本まちなみトラスト
- 8 後 援 長崎県・鹿児島県・熊本県・長崎市・長崎県教育委員会・熊本県教育委員会
九州経済産業局・国土交通省九州運輸局・九州観光推進機構・長崎県観光推進本部
NBC 長崎放送・NCC 長崎文化放送・NIB 長崎国際テレビ・
KTN テレビ長崎・NHK 長崎放送・朝日新聞社・読売新聞西部本社・
西日本新聞長崎総局・毎日新聞社・長崎新聞社・南日本新聞社